



# 株式会社ハイウェルの 株式取得（子会社化）に関するお知らせ

株式会社Kaizen Platform 証券コード 4170

2022年10月20日

# KAIZEN the World

21世紀のなめらかな働き方で  
世界をカイゼンする



## SES事業を主に展開する「ハイウェル社」の株式を70%取得し、子会社化

|           |                 |
|-----------|-----------------|
| 契約締結日     | 2022年10月20日     |
| 株式取得日     | 2022年10月31日（予定） |
| 株式取得価額    | 490百万円          |
| 取得持分      | 70.0%           |
| 取得資金の調達方法 | 金融機関による借入金を予定   |

## 残株式（30%）について

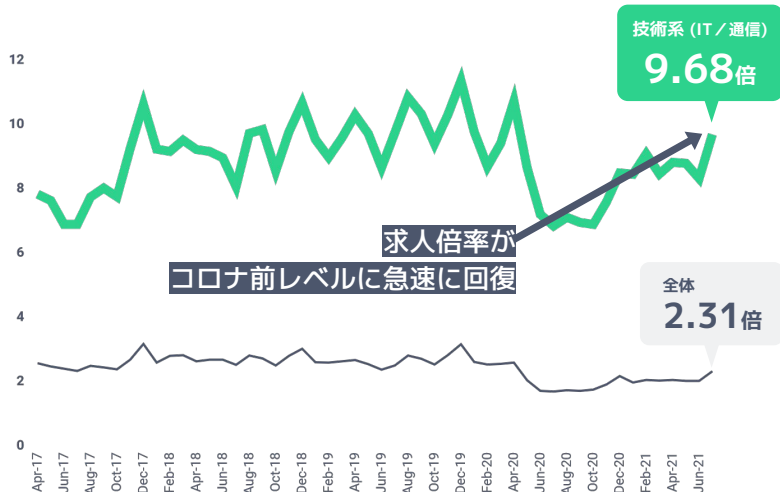
残株式について、取得価額は当初総額210百万円としているが、ハイウェル社が一定の業績条件を達成した場合、総額360百万円に取得価額が調整される予定。



|       |                                  |
|-------|----------------------------------|
| 社名    | 株式会社ハイウェル                        |
| 所在地   | 東京都港区                            |
| 代表取締役 | 近藤 太                             |
| 設立    | 2007年6月1日                        |
| 資本金   | 10百万円（2022年6月末時点）                |
| 売上高   | 1,833百万円（2022年3月期）               |
| 従業員数  | 22名（2022年6月末時点、役員・契約社員・アルバイトは除く） |
| 事業内容  | HR事業<br>プロモーション事業企画・制作           |

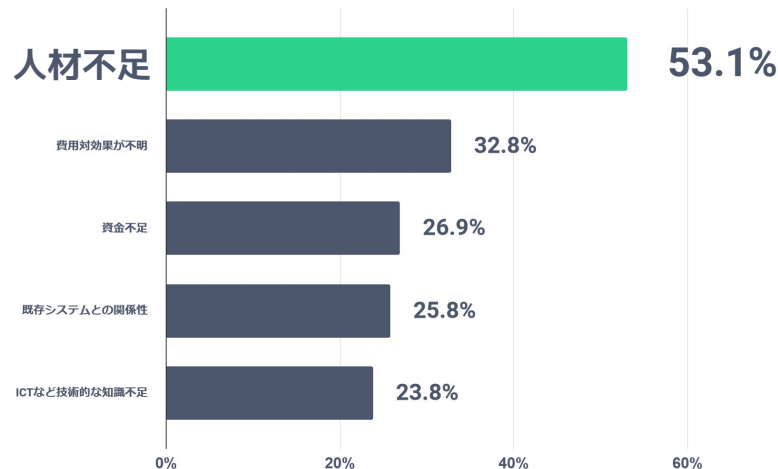
## DXニーズは依然強く、DXを推進できる人材の確保が急務

### ① 転職求人倍率



※ Source : doda 転職求人倍率レポート (2021年7月/数値修正版)

### ② DXを進める上での課題



※ Source : 総務省 (2021) 「デジタル・トランスフォーメーションによる経済へのインパクトに関する調査研究」

コア業務としてのDXをインソースで求める企業が増え、PMOやワークショップが伸長  
一方、BPO事業における潜在的競合となる可能性も高く、DX市場全体の成長を取り込む上で重要なマーケット

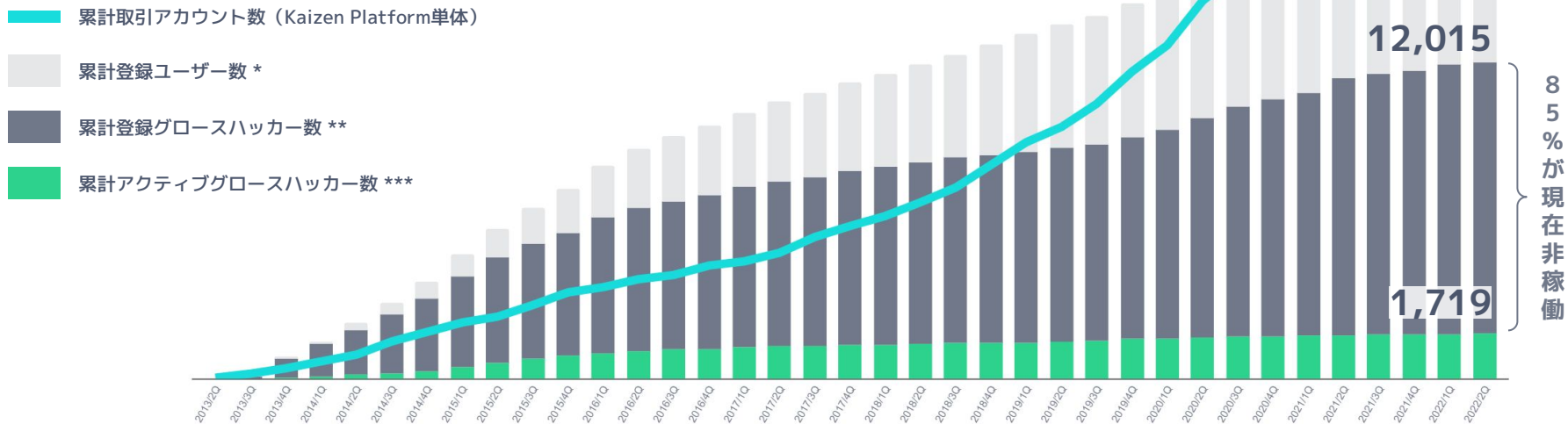


## 当社のグロースハッカーを活用した System Engineer Service (SES) を開始予定 顧客のDX強化と共に当社グロースハッカー活躍の場を増やす



## Kaizen Platform登録者（応募者）のうち、仕事を提供できていないグロースハッカーが85%

すでに日本全国から集まるエンジニアを始めとするDX人材プールを保有している



## STEP1

上流となるコンサルティング機能の強化

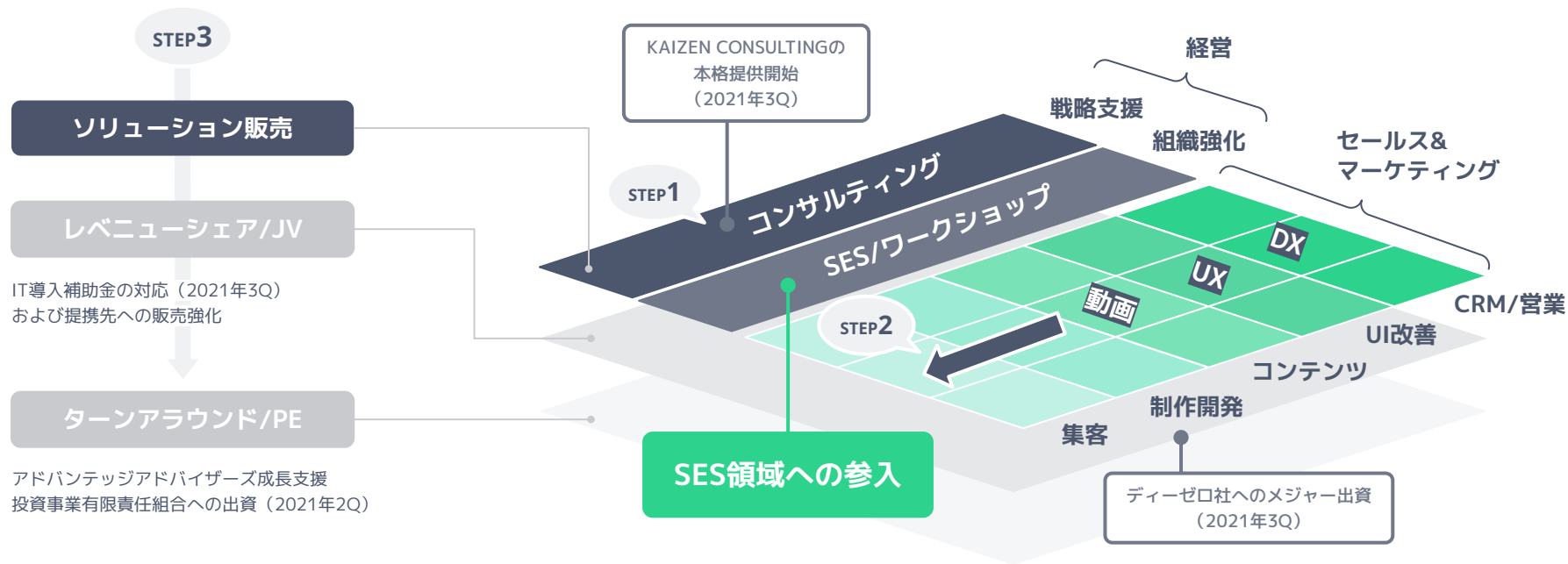
## STEP2

セールス&マーケティングDXの提供、ケーパビリティの拡大

## STEP3

ビジネスモデルを拡張してより収益のレバレッジを高める

STEP2を2024年までに完了。DXをフルサポートできるサービスが揃った上でSTEP3を本格化





成長していくDX市場におけるプラットフォームとしてのポジションを  
より強固なものにするための投資を行い、DXのEMS\*を目指す

